

再評価調査

事業名		平野地区急傾斜地崩壊対策事業		
所在地		豊能郡豊能町木代		
再評価理由		事業採択後、10年間経過した時点で継続中		
事業概要	目的	がけ崩れによる災害から府民の生命を保護するため、傾斜30度以上、高さ5m以上のがけ崩れの恐れのある急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策施設の整備をする。		
	内容	急傾斜地崩壊対策工 L = 400m 擁壁工 L = 364m 法枠工 A = 1,516m ²		
	事業費	470,000千円 (内訳) 工事費 470,000千円 用地費		
	維持管理費	原則なし		
	上位計画	第3次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画にもとづき事業実施している。		
	関連事業			
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度 H5 事業着手年度 H5 完成予定年度 H13	- 事業着手年度 H5 完成予定年度 H14	完成予定が1年遅れたのは、事業実施箇所が狭く、当初想定より作業に手間取り日数を要したため
	進捗状況	用地 - % 工事 100%	用地 - % 工事 92%	事業進捗が遅延しているが、H14年5月末の完成を目指し鋭意事業中
	途中段階の整備効果発現状況	工事概成ごとに部分効果を発揮する。	同左	
	事業進捗に関する課題	特になし		

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		箇所概要 斜面状況 [高さ20m、勾配30度] 保全対象 [人家12戸、 町道320m] <災害発生の危険度> 当箇所は、平成5年7月の豪雨(時間最大雨量25mm/h、総雨量105mm)によりがけ崩れが発生した。引き続きがけ崩れの危険性が高い。	箇所概要 同左 <災害発生の危険度> 同左	
	地元等の協力体制	地元より要望書が出されており、事業に協力的である。	事業に協力的である。	変化なし。

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 便益総額 B = 億円 総費用 C = 億円 		<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1.32 便益総額 B = 6.94 億円 総費用 C = 5.27 億円 	<p>砂防事業では、平成 11 年度事業より費用便益分析を行っており、当事業の着手時にはそのような概念がなかった。</p> <p>総費用 C = 4.64 億円</p>
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	砂防施設を設置し、急傾斜地崩壊危険箇所の安全性を向上させる。	・急傾斜地崩壊危険箇所の被害想定区域内住民が受益者。	同左	
	活力				
	快適性				
	その他				
自然環境等への影響と対策					
その他特記すべき事項	平成 13～14 年度の債務工事で事業完了である。				